

市民活動団体紹介

にじ色こども食堂

「こども食堂」は、食卓を通じて子どもたちを見守る地域づくりを目的とする場。私たちは昨年12月に豊平区月寒東の食堂を月2回借りて、にじ色こども食堂を始めました。調理ボランティア10人ほどで、晩ごはん60食を、参加費18才以下200円、保護者300円で提供しています。いろいろな世代と食卓を囲んで交流し、温かい食事でお腹が満ちた子どもの顔は笑顔一杯。野菜嫌いを自然と克服できた子もいます。この活動を続けていくために、皆様からの食材の提供を常時受け付けております。



▲30色の個性の子ども、30足の靴を脱ぎ、30食のひと皿を共に食べる。いただきます

【問い合わせ】nijishoku.happy@gmail.com(安田) / URL : http://kodomoshokudou.net/

NPO法人 北海道ふるさと回帰支援センター

総務省の「地域力の創造・地方の再生」の取り組みの一つに「地域おこし協力隊」という制度があります。地方移住の希望者と移住者を受け入れたい全国の市町村。双方の希望条件をすり合わせ、移住者が「地域おこし協力隊」の隊員になるためのお手伝いをするのが私たちの役割です。179市町村の北海道は26年度225人(全国では1511人)を受け入れています。仕事、住居、収入、年齢、期間、雇用形態など市町村の受け入れ条件は個々に違います。隊員の平均年齢は20~30代が8割、男女比は6:4、最終的には6割の人が定住しています。詳細は下記HPへ。



▲協力隊希望者へ個別相談実施

【問い合わせ】011-211-0261(事務局) / URL: http://www.furusato-kaiki.jp/

ブレインズ 種まく私たち

オープンガーデンとは、個人やお店などが自分で手入れしている庭を一定の期間公開することです。

各地域で、ひと庭ごとに様々な工夫がなされた個性あふれる空間に一步足を踏み入れると、オーナーの努力と花づくり庭づくりの楽しさが伝わってきます。

この会では、会員相互の親睦を深めることを目的に、ガーデナーの情報交換、ガーデンツアー、交流会等を開催しています。また毎年、情報誌の発行販売も行っています。

訪問される方は、オープンガーデン実施要領に沿い、日時や公開方法等のマナーを守って訪問しましょう。



▲庭巡り

【問い合わせ】0126-37-2185(三石)

札幌市市民活動サポートセンター登録団体をご紹介します。このコーナーは編集ボランティアスタッフが担当しています。

観光ボランティアガイド 輝望の会

バスを1台借り切って札幌近郊のマチを訪ね、そのマチの自然、文学、歴史に触れ、地元の食を味わう「大人の遠足」を楽しんでいます。見たい、知りたい、楽しみたいという向学心旺盛な人たちに口コミで広がり、49人乗りのバスは、すぐに定員になる人気です。有名な観光地ではなく、あまり知られてはいないけれど興味深い場所を、じっくりと巡ります。春と秋の年2回の日帰りの旅は、これまで伊達、平取、ニセコ、小樽、余市、滝川を訪れてきました。4年目の今年は、5月に旭川まで足を延ばし、道内一のカタクリの大地、道内・山山自然公園を散策し、井上靖文学館、旭川市博物館を巡ってきました。



▲井上靖記念館では学芸員がさまざまなエピソードを話してくれました

【問い合わせ】t21xmochida@feel.ocn.ne.jp(望田)

北海道ユニバーサルツーリズム推進協議会

高齢や障がい等を理由に「旅の楽しみ」を諦めてしまう人が多いのは、もったいない。そんな思いから全道5拠点と連携し、北海道を観光で訪れる全ての人々が旅を楽しめるようサポートしています。

JR札幌駅構内の「北海道ユニバーサル観光センター・札幌」では、ユニバーサル観光情報の提供の他、車椅子・ベビーカーの貸出も行っており、観光客だけでなく市民も利用できます。センターの活動を通して、市民のユニバーサル観光に対する意識が高まる事を期待しています。



▲北海道ユニバーサル観光センター・札幌の様子

【問い合わせ】info@hokkaido-ut.com(吉田)

eni

2015年3月3日にスタートした起業女性を応援するコミュニティeni(えに)。女性が自ら輝き活躍するための「場」を作っていきたいと思っています。具体的には、起業を考えている女性のために無料相談窓口を開設したり、多彩な講師によるセミナーや新たな交流の場となるイベントを開催しています。

一人では無理かな...とってしまうことも、多くの仲間がいれば、きっと実現します。まずは、私たちのFacebookページに遊びに来て下さい。



▲異業種メンバーによる「ビジネスプランを考える」ワークショップの様子

【問い合わせ】eni.commu@gmail.com / facebook: https://www.facebook.com/eni.sapporo/

みんなのしみサポ

札幌市市民活動サポートセンターだより

第43号 2016.6

市民活動団体登録数(5月末現在)

市民活動登録団体 2,607団体
男女共同参画活動団体 56団体
消費者活動団体 30団体
環境活動団体 57団体

札幌市市民活動サポートセンターはNPOやボランティア活動などの市民活動を支援する拠点施設です。

地産の食材を食べよう!

毎日の食卓に並ぶ料理の食材。皆さんは何を意識して選んでいますか?新鮮でおいしく、安心して食べられる地産の食材には、札幌の歴史や個性、人々の想いがつまっています。生産者・行政・市民が一体となって都市の第一次産業を支え、活性化させることを目指すなかで、それぞれの立場から課題を捉えて取り組んでいる市民活動団体があります。身近な食材のこと、考えてみませんか?



- 1 南区の農業を知ってもらうために、援農ボランティアの「親子体験ツアー」を実施
- 2 「親子体験ツアー」の昼食は、採れたて新鮮な野菜でバーベキュー!
- 3 畑の草取りをする援農ボランティアさん
- 4 お米を知るためには田植えから
- 5 道庁赤レンガ庁舎前庭に全道から集まった生産者のテントが並び「北のめぐみ愛食フェア」
- 6 「札幌地球キャベツ」は普通のキャベツの8~10倍と言われる程、とにかく大きい!
- 7 森の遊びの中で、しいたけを収穫。ほかにジャガイモ掘りも
- 8 せたな町の自然と海と山を知る、生産者見学イベントの様子

地産地消の実践で農業を支えたい

規格外の地元食材をもっと食べていただき、札幌南区で農業が行われていることを広めたいと会を立ち上げました。2009年から3年程販売のお手伝いをしていましたが、今は常設するスーパーが増えたため、農作業を手伝う「援農ボランティア」の取り組みを進めています。

以前は、規格外の野菜は漬物などの加工品にされて、市場に出回ることはありませんでした。旬を問わず輸入野菜もありますが、「地産地消」が食生活の基本です。規格外の食材も含めた地元農家の直売所が定着したのは「鮮度」でしょう。長持ちするので、他の食材を購入・調理する計画も立てやすい。消費者側の意識は、見た目の良さから、鮮度と地元食材への安心感へ変わってきていると思います。

日本は各地域でさまざまな食材が手に入ります。それは素晴らしいことで、農業を守ることは消費者自身が生きていくためでもあります。鹿などの動物との共存は課題ですが、農地・里山がある札幌は、世界に誇れる都市です。

ふぞろいの北の野菜と果物を応援する会 南信子さん

新鮮で安心・安全な道産食材のおいしさを味わって

北海道では、2005年に“消費者の視点に立った食の安全・安心の確保”を重要な課題として「北海道食の安全・安心条例」を制定しました。その趣旨に賛同し、「自分で収穫したものを直接消費者へ届け、その良さを伝えたい」という想いをを持った生産者・加工業者の皆さんへ道庁が呼びかけて、道庁赤レンガ前庭で始まったのが「愛食フェア」です。

道内各地の遠方から、生産者自らが採れたての食材や食品を自力で札幌まで運び、対面販売するのはとても大変なことですが、札幌市民や観光客の喜び顔と、そこで培われる消費者との信頼関係が出店団体の力となり、10年間この催しを支えてきました。

今年はさらに多くの方に道産食材に親しんでいただけるようパンフレットをリニューアルし、配布範囲も拡大。会場でエレクトーンコンサートを行う等の新たな企画も準備しています。多くの皆さんに会場へ足を運びいただき、道産の新鮮なおいしさを楽しんでいただくことで、これからも生産者と消費者が信頼の「愛食」関係を育てていきたいですね。

北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 佐藤博毅さん

“スローフード”という取り組みと、私たちの暮らし

スローフードという概念はイタリアが発祥とされ、地域の食物や食文化を守る、見直すことを言います。2000年頃から日本各地での活動が立ち上がり、北海道の会は今年で14年目に入りました。農家、漁師、主婦、小売店、加工業者などのさまざまな職種の方が、地元の食について考え、活動しています。

札幌にはどんな伝統の食べ物があるかご存じですか?実はいろんな食材があり、代表的なところでは「八列とうもろこし」や「札幌地球キャベツ」、「札幌黄たまねぎ」などがあります。これらは「アルカ(味の箱舟)」というその土地固有品種を守る認定制度に登録された食材で、食べておいしいということをきっかけに、きちんと地元の食に向き合う大切さを伝えたいと、さまざまな活動に取り組んでいます。昔から食べ慣れていた美味しい食材があるということは、その地域の魅力なんですね。

今の生活スタイルや環境などに閉塞感を感じ、生活を見直したいという方は少なからずいると思うんです。地元食材の講座や田植えといった生産者との交流などを通じて、美味しく楽しい活動の輪をつなげていきたいと思っています。

スローフード・フレンズ北海道 すずきももさん

みんなのしみサポ 第43号

- 発行日:平成28年6月
- 発行:札幌市市民活動サポートセンター 指定管理者:(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
- 住所:〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌工ルプラザ公共4施設2階
- アクセス:JR札幌駅北口より徒歩3分 (札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)
- 電話:(011)728-5888 ●FAX:(011)728-7280
- HP: http://www.shimin.sl-plaza.jp
- facebook: http://www.facebook.com/shimin.sl.plaza



みんなのしみサポ 編集ボランティア活動の様子



『みんなのしみサポ』は編集ボランティアスタッフと札幌市市民活動サポートセンター職員が協力して作成しています。

編集ボランティアの全体会議は月に一度。原稿の最終確認や今後の企画など、たっぷり2時間かけて話し合います。

取材協力団体

ふぞろいの北の野菜と果物を応援する会 (写真①~④)
メール: fuzoroi.poro@gmail.com
URL: http://fuzoroi-poro.jimdo.com/

北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 (写真⑤)
TEL: 011-233-4440
URL: http://www.aisyoku.jp/

スローフード・フレンズ北海道 (写真⑥~⑧)
メール: info@slowfood-friends.org
URL: http://www.slowfood-friends.org

市民活動 ズームイン!

編集ボランティアスタッフによる体験取材コーナーです。

◆簡単にきれいに、初めてだって大丈夫
桜の花がほころびはじめた4月下旬。行楽シーズンを前に本格的な始動を待つ大通公園にやってきました。頭上にはさわやかな青空、足下にひろがるのはたくさんのブルーシート。集まった約60名の市民ボランティアの皆さんと、さっそく塗装開始です。



▲私たちは2丁目の背もたれなしのベンチにチャレンジ! 気分はすっかりペンキ屋さん!

あらためて見ると、ベンチの肌はカサカサ。うまく色がのるか心配でしたが、刷毛にたっぷり塗料をふくませてスーッとすべらせるだけで、面白いように伸びていきます。イヤなおいもなく、小さな子どももこれなら安心。作業前に抱いていた「大変そう」というイメージはどこへやら、初心者の私たちでもあつという間にきれいに仕上げることができました。みな笑顔で楽しそうに塗っており、傍を歩く人々も興味津々の様子です。



お問い合わせ先
電話 011-372-3010[和信化学工業(株)内]
メール s.w.repainters@gmail.com
Facebook
https://www.facebook.com/sapporowoodrepainters/

今回ご紹介するのは…

Sapporo Wood Repainters (サッポロウッドリペインターズ)

札幌市内の傷んだ木工物を市民の手で塗り替え、美しい景観を守る活動を行っています。



大通公園のベンチを塗り替えよう!

春と秋の年2回、数年をかけて大通公園の全ベンチを塗り替えるプロジェクト。
4月24日(日)2回目となる今回は、大通1・2丁目の72脚のベンチが対象です。

◆まちの風景になじむ色えらび

ベンチの色はエリアごとに塗り分けます。今回はミルク金時・ピア茶・蝦夷松の3色を使用しました。いずれも札幌市が制定する景観色で、街並みに溶け込む色ばかり。地域色ゆたかな名前にも頬がゆるみます。たとえばピア茶は、ジョッキに注がれた生ビールの色なのだそう。ベンチは基本的に茶系で統一していますが、2丁目センターエリアのみ特別に、市民投票で選ばれた蝦夷松色を塗りました。青みがかった深い緑で、遠景でみるテレビ塔とも相性がばっちりです。



◆みんなの場所をみんなで守りたい

塗装を通じて「景観色」や「木工物のぬくもり」に触れ、ものを大切に使う豊かさを感じてもらうこと。そして、札幌に暮らす私たちみんなが気軽に楽しくまちづくりに参加できる場を作っていくこと。これが団体の理念です。「自分の手で塗ることで、まちに愛着が生まれます」と事務局長の宮川さん。まさにその通り。というのは、後日いそいと友人を連れて私が塗った「マイベンチ」に座りにいきましたから。

大通公園の全ベンチを塗り終える間に、今回塗ったベンチがまた塗り直しのタイミングを迎えます。息長く続けることに意味があるプロジェクト。私たちのインタビューに「また来たい」と元気に答えてくれた男の子の言葉が頼もしく響きます。DIYの精神で、あなたも参加してみませんか。



SWR事務局長 宮川多恵さん
2人のお子さんを待つお母さん

みんなの 市民活動相談

最近寄せられた市民活動に関する相談をご紹介します。



市民活動相談員
三浦 博志さん
(さっぽろパブリックサポートネットワーク)

Q1 公園の野良猫やカラスに餌をやることを防ぐため、ボランティアで公園管理の一部をサポートしたいと考えています。

A1

公園管理事務所の考え方にもよりますが、やはり個人ではなく団体である方が参画しやすいでしょう。まず団体の形を作って、所轄部署に相談されてはどうでしょうか。任意団体の設立には人数などの制約はありませんが、団体として最低限必要なものは、次のようなものが考えられます。

- ・団体名
- ・規則(設立趣旨、活動内容)
- ・名簿
- ・メンバーのこれまでの活動経験

Q2 学生を対象に、ボランティア活動に意識を向けもらうための事業を行うNPOです。メンバーを増やすための広報には、どんな方法がありますか?

A2

NPOは、社会のある課題を解決する目的を持って設立されます。そして具体的な事業を行って、その課題を解決していきます。ですから参加してほしいメンバーは、その目的や事業に賛同し、興味を持ってくれる人々、ということになります。したがってメンバー募集の広報では、目的、具体的事業をはっきり表現することが大切です。また世代により伝わりやすい広報媒体は違います。印刷物、ネット、マスコミなどを使い分けることも必要です。

このコーナーで紹介した図書は、札幌エルプラザ公共4施設1階の情報センターで借りることができます。

図書紹介

「ボランティアの考え方
(岩波ジュニア新書)」
秦 辰也【著】 岩波書店

この本は阪神淡路大震災の4年後、1999年に出版されました。1998年にNPO法が施行されたばかりで、NPOの認知度はまだまだ低い時代でした。阪神淡路大震災では、公的機関や営利を求めるビジネス組織だけでは、不完全な社会であることに気づかされました。それを受けたNPO法により、いっきにNPOが増え18年が経ちました。しかし今、NPO本来の視点に立ち返る時期ではないかとも思えます。この本では、自分と社会のつながり、その組織や制度づくりなどにも触れていて、設立を考える方々にもいろいろなヒントがあると思います。



図書紹介

「こうだったのかNPOの広報」
武永勉【著】 大阪ボランティア協会

筆者はマスコミ記者として多くの取材をしてきました。その自らの経験から、何をどのような形で説明すれば相手に届くのか、そのヒントがまとめられています。自分の立場、視点からの発信ではなく、何も知らない相手の立場で考え発信することの大切さに気づかされます。またその視点は、自分たちの事業の評価をする場合にも、自己満足に陥らない有効なものとなります。



お知らせ

札幌市～所轄庁から

事業報告書の提出はお済みですか?

特定非営利活動法人は、特定非営利活動促進法第29条第1項等の規定により、毎事業年度初めの3カ月以内に、前事業年度に係る事業報告書等の書類を所轄庁に提出しなければならないこととされています。3年以上にわたって事業報告書等が未提出になると、設立の認証が取り消される場合がありますので、提出がお済みでない場合には、至急所轄庁までご提出ください。市民活動サポートセンターでも事業報告書の取次をしておりますので、ぜひご利用ください。

【お問い合わせ先】
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市市民活動促進担当課
TEL: 011-211-2964 E-mail: shimin-support@city.sapporo.jp
URL: http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/index-1.html

市民活動サポートセンターから

市民活動相談

活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが相談をお受けします。

相談日時

火曜～金曜日(祝日休)15:00～18:00

税務・会計相談

北海道税理士会所属の税理士が法人会計等の相談に無料でお答えします。

相談日時

6月27日(月)17:00～20:00
8月8日(月)15:00～18:00
8月22日(月)17:00～20:00

法律相談

「NPOのための弁護士ネットワーク」の弁護士が市民活動団体・NPO法人運営に関する法律のご相談に無料でお答えします。

相談日時

7月4日(月)15:00～18:00
8月1日(月)15:00～18:00
9月5日(月)15:00～18:00

新規事業

・おためし!! 出展

市民活動団体の日頃の取り組みや成果を発表するための出展企画です。ぜひお立ち寄りください。

日時

6月13日(月)～6月27日(月) 9:00～18:30

出展団体 ※団体によって出展日時が異なります。

- ◆6月13日(月)～17日(金)
 - ・シベリア抑留体験を語る会札幌
 - ・文化コミュニティおきなわ工房
 - ・NPOそうじかで地球みかき
 - ・札幌生涯学習インストラクターの会
- ◆6月18日(土)～22日(水)
 - ・一般社団法人 北海道ブックシェアリング
 - ・NPO法人 札幌VO
 - ・北海道ダッタンそばの会
- ◆6月23日(木)～27日(月)
 - ・一般社団法人 あんしん住まいサポロ
 - ・NPO法人 コアトル
 - ・NPO法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道
 - ・NPO法人 札幌VO

会場

札幌エルプラザ公共4施設 1階エントランスロビー

・NPOマネジメント講座[中長期計画の立て方]
NPOの運営における基本的な事業計画や目標設定の考え方を学びます。

日時

7月12日(火)、19日(火) 14:30～16:30 全2回

会場

札幌エルプラザ公共4施設 会議室1・2

講師

太田 明子さん(太田明子ビジネス工房 代表)

対象・定員 20人(先着順)

市民活動団体に取り組み団体・個人の方で、計画の考え方・立て方について基礎から学びたい方

※他にも役立つ情報をHPに掲載していますのでご覧ください。HP: http://www.shimin.sl-plaza.jp